

【最近のこれはお見事！】

『変態だ』

原作者・みうらじゅんが「今見てみたいボルノ映画を作ろう」という事で作られた映画だそうで、題名とコンセプトに

# シネマズライフ

たかぎ りおん 貴樹 諒音

【最近のこれはまずいぞ！】

『世界の果てまでヒッパリー！』フランス発のおバカ映画らしい。という訳でこの題名らしいが、『世界の果て』にはいかんらしい。

2016年11月18日発行 第114号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

## 映画の風景 日本の風景

※ 屋久島 永田いなか浜 ※



屋久島 永田いなか浜→

魅力的な女性には誰にも魅かれ、判断がずれてしまう事も多く、コート・ダジュールという魅力的な保養地にいた場合もなおさらである。

20世紀初頭、スタンリーは《中国人マジシャンウェイ・リング・ソー》として名を馳せたマジシャン、イギリス人で、現実主義者。

『マジック・イン・ムーンライト』という映画があった。こんな映画だ。

『マジック・イン・ムーンライト』2014年 アメリカ 監督脚本：ウディ・アレン 出演：コリン・ファース エマ・ストーン マーシャ・グイ・ハーデン ハミッシュ・リンクレイター サイモン・マクバーニー

20世紀初頭は畫師などの全盛期で、世界的に《交響曲》などが行われていた。逆にそれを悪く人離れした訳でどっちにしても怪しい詐欺師達の全盛期でもあった。

『ラブ&ピース』と『王妃の館』どちらも、はつきり言つて超《奇天烈》。

話面白そうになつたな！と思つた時に、突然、有名作家・北白川右京(水谷豊)の書

《奇天烈》な映画でもない。『ラブ&ピース』と『王妃の館』どちらも、はつきり言つて超《奇天烈》。



ただ、いまだに『奇天烈だ』から『思う』元政治家の人もいるようで、人々を翻弄するのだけは止めてほしいと思うのだ。

ここ数年、世界中に確かにポピュリストと呼ばれている人が多く現れているが、21世紀のポピュリスト達はどんな末路... いや結果を世界にもたらすかはわからな

《奇天烈》な映画でもない。『ラブ&ピース』と『王妃の館』どちらも、はつきり言つて超《奇天烈》。

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。

on air !

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もみます。m(\_ \_)m

『鑑定士と顔のない依頼人』

スターチャンネル

2013年 イタリア

監督 脚本: ジュゼッペ・トルナトーレ  
出演: ジェフリー・ラッシュ ジム・スタージェス  
シルヴィア・フークス ドナルド・サザーランド

11月27日(日) 21:00 11月29日(火) 14:00 21:00 [チャンネル2]  
11月30日(水) 8:00 (吹) [チャンネル3]  
12月8日(木) 23:00 12日(月) 16:30 [チャンネル2]  
12月15日(木) 6:30 21日(水) 13:30 (吹) [チャンネル3]  
12月23日(金) 12:00 [チャンネル2]  
12月26日(月) 29:00 ⇒ 12月27日(火) 5:00 [チャンネル3]

ヴァージル・オールドマンは世界的な鑑定人だが極端な人間嫌いで、友人はオークションで好きな絵を手に入れる為に協力しているピリーくらいだ。孤独な日々を送っていたが、ある日電話で不思議な依頼を受ける。「両親が死んだので、遺産の芸術品を鑑定してほしい」というのだ。屋敷を訪ねるとそこは豪華なお屋敷で芸術品にあふれていた。使用人によると屋敷には若い女性が住んではいないが、姿を見た事がないという。何回か通うが依頼主は現れない。そこで顔を見てみたい為隠れていると、部屋から現れたのは美しい女性・クレア。ヴァージルは、その女性に魅せられてしまう…。

結局主人公の自業自得だが気の毒でもある。最後のジェフリー・ラッシュの哀愁ある表情を見ると最後の願いは叶ってほしいと思う。

『アルゴ』

ザ・シネマ

2012年 アメリカ

監督 脚本 出演: ベン・アフレック  
出演: アラン・アーキン プライアン・クランストン  
ジョン・グッドマン ケリー・ピシカイル・チャンドラー  
ロリー・コクレーン クリストファー・デナム

11月23日(水) 21:00 11月27日(日) 14:30

1979年11月、イラン革命真っ只中。前国王パーレビの引き渡しを要求するデモ隊にテヘランのアメリカ大使館が襲われ、52人が人質に占拠されてしまう。ところが、その騒ぎの中6人の大使館員が脱出しカナダ大使館に逃げ込む。新政府(イスラーム革命評議会)はそれに気付いていないが、大使館員はカナダ大使館から出られなくなる。それを知ったアメリカ政府はCIAの人質奪還の専門家、トニー・メンデスに脱出を依頼。メンデスはこの難しい作戦に頭を悩ます。やがて映画の撮影と言ってイランに入国し、その撮影隊のスタッフとしてイラン脱出を思いつく。そこで、ハリウッドの大物プロデューサー、レスターとメイクアップアーティスト、チェンパースに協力を依頼。偽映画『アルゴ』の準備と脱出の準備し、メンデスはイランに乗り込むが…。実際にあった《イランアメリカ大使館人質事》をネタ元にしたサスペンス映画。ドキドキ度は半端ないです。

★読んで頂いてありがとうございます。よろしかったらコメント下さい。感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願ひします！ 貴樹諒音

2013年 アメリカ  
監督 脚本: フォディ・アレン

『ブルージャズミン』

出演: アレック・ボールドウィン  
ケイト・ブランシェット ホビー・カナベイル  
レイ・サリー・ホーキンス

実業家の夫ハルが詐欺の為捕まり、彼の妻としてセレブ生活を満喫し《ブルージャズミン》と呼ばれていたジャネットの生活は破たん。生活もままならずしかたなく、ウイトンの旅行カバンと共にサンフランシスコの異母妹・ジンジャーの元に向かう。実はジャネットは、ジンジャーの前夫・オーギーとの離婚の原因を作っており、ジンジャーは今度も恋人との同居を考えていたが延期となっていた。さて、地味に暮らすジンジャーとの生活は戸惑うばかりでジャネットはますます抗鬱剤とウオッカを手



放せなくなっていた。一応仕事を見つけた、パソコン教室に通うが、思いは懐かしいセレブ生活への復活を願うばかり。ある日、パソコン教室の友人にパーティーに誘われ、そこで外交官であるドワイトと出会い元生活に戻れるのではないかと夢を描く。そこで、ジャネットは見栄を張り、仕事はインテリアデザインで夫は死別…、などと嘘を並べドワイトと交際を始める。やがて、嘘とジャネットの努力のかけあつてドワイトとの婚約が決まるが…。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie

シネマズライフ114号  
 ❧ 発行人: 貴樹諒音 ❧  
 発行日: 2016年11月18日  
 cinemaz-life@movie.nifty.jp  
 ❧ 告知ブログ ❧  
 http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/



☆ 11月だと暖かかったり寒かったりではつきりしてほしいものです。  
 【編集後記】  
 ☆そこで一句。  
 知らぬ間に冬まで  
 急ぐ衣替え  
 秋服今年も  
 タンスの隅に  
 皆さまお体大切に！  
 かしこ

★次回発行は12月2日。発行予定は第一・三金曜日です。

シネマズライフ—cinemaz-life— 1 1 4 号

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

著者：貴樹 諒音

メールアドレス [cinemaz-life@movie.nifty.jp](mailto:cinemaz-life@movie.nifty.jp)

著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』

<http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html>

《スターチャンネル》

『鑑定士と顔のない依頼人』

《ザ・シネマ》

『アルゴ』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。  
ぜひ、ご覧くださいませ。

**Yahoo!映画**

**rion\_takagiのMyムービー**

<http://my.movies.yahoo.co.jp/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A-->

※& 他にもいろいろやってます。(^^;) ※&  
お世話になっているインターネットTV  
**[netchannel KYO](#)**

**『オススメ犬映画』**

<http://www.pet-c.net/column/movie/index.php>

犬の映画を紹介してます。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸いです。

[cinemaz-life@movie.nifty.jp](mailto:cinemaz-life@movie.nifty.jp)

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.